

### 事業概要

- ヘルメット購入費用の一部を補助・助成し、保護者の経済的負担を軽減することで、中学生・高校生のヘルメット着用の推進を図る。
- 自転車の安全利用に関する指導・啓発活動をさらに充実をさせることで、児童生徒の自転車の安全利用に関する意識の向上を図る。
- 児童生徒の登下校中の安全確保に向けた取組の拡充を図る。

### <事業の背景>

「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（平成31年4月施行）において、18歳以下の児童等へのヘルメット着用を、保護者の努力義務として規定

### 1 現状・課題

- ・条例の保護者の努力義務事項について十分な理解がされていない。
- ・ヘルメット着用の必要性は認識していても、着用行動に結びついていない。

### 2 事業目標

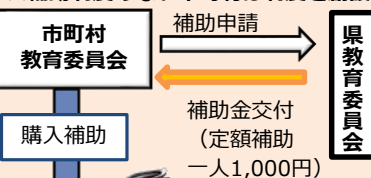
- 県内の小・中・高校生の自転車の安全利用の意識が高まり、自転車通学時に自主的にヘルメットを着用する児童生徒が増加。

### 3 実施内容

ヘルメット購入費用の補助・助成（対象：県内の小中高校生で自転車通学をしている児童生徒（保護者））

#### ①市町村（学校組合）立小中学校・高等学校・特別支援学校（定額補助 一人1,000円）

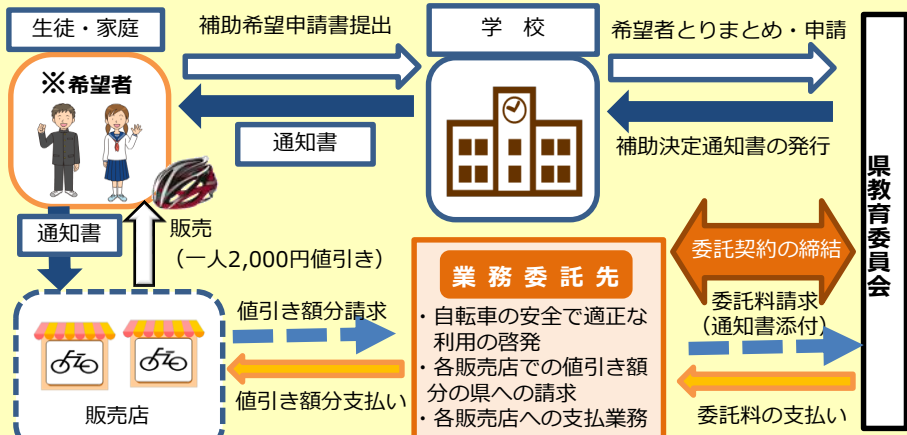
※補助制度のない市町村は制度を創設



生徒・家庭 学校



#### ②県立の中学校・高等学校・特別支援学校（定額補助 一人2,000円）



**業務委託先**

- ・自転車の安全で適正な利用の啓発
- ・各販売店での値引き額分の県への請求
- ・各販売店への支払業務

### 県立学校の取組の強化

- 自転車通学申請時にあわせて、ヘルメット着用の周知の徹底
- ・合格者登校日や自転車通学申請時に、条例の趣旨の周知と助成券申請書配付 **NEW**
- 保護者への直接的な働きかけ
- ・三者面談や学校行事等、保護者が来校する機会での説明・啓発、購入を促進する機会の設定
- 生徒がヘルメット着用的重要性を実感できる交通安全教育の徹底
- ・交通安全教育教材「Traffic Safety News」等を活用した交通安全教育の実施
- ・ヘルメットを「目にする、手に取る、被ってみる」機会の設定



### 普及・啓発の強化

- ヘルメット着用体験（中高生生へのヘルメット貸出）
- 一定機関、ヘルメットを着用しての通学体験
- 高校生によるヘルメット着用をテーマとしたシンポジウムの開催
- 警察等の関係機関と連携した取組の実施
- あらゆる機会を捉えた広報・啓発
- ・情報共有資料「かぶっとご通信」発行
- ・チラシ、ポスター等の配布
- ・テレビ、ラジオ、広報誌等のメディアによる広報
- ・毎月の街頭啓発（のぼり旗、くろしおくん）
- 交通安全教育拠点校を中心にした、(例)講演会の実施（生徒や保護者等の意見交流）
- ヘルメット着用への高校生の意識の醸成・パレードの実施 等

### PTAと連携した取組

- PTAによるヘルメット着用推進の取組
- PTAの組織的な取組に対しての働きかけ
- ・ヘルメット着用に関するPTAと学校との協議
- ・スローガンによる呼びかけ
- ・あらゆる機会を通じた条例の趣旨の周知
- ・関係機関と連携した啓発